

地 域 再 生 計 画

1. 地域再生計画の名称

「自然と共生する彩りのまち」再生計画

2. 地域再生計画の作成主体の名称

青森県南津軽郡大鰐町

3. 地域再生計画の区域

青森県南津軽郡大鰐町の全域

4. 地域再生計画の目標

本町は、青森県の南端に位置し、人口 12,682 人（平成 17 年 3 月 31 日現在）、面積 163.4 平方キロメートルで、南部の山岳地帯を境に秋田県と接する県境の町である。緑と水辺につつまれた豊かな自然環境のもと、基幹産業の農業と「スキーといで湯のまち」として長い歴史を誇る観光を柱に町の発展に努めてきた。

まちづくりの目標は「『健やか・彩り・輝きのまち』おおわに」と掲げ、下記のとおり各種事業を展開している。

- ①「健やかなまち」として、駅前地区に歴史ある温泉を活用した地域交流センターを整備し、子供から高齢者に至るまで利用され心健やかで安心がある長寿社会づくりのモデルとなっている。
- ②「輝きのまち」として、冬期間に限定される温泉熱を利用したもやし栽培について、需要のある通年栽培に向けた技術開発を行っており、夢の実現に向かっている。
- ③「彩りのまち」として、町の中心部を流れ白鳥も飛来する平川に、水辺と親しむ平川親水公園を整備し、灯籠流しを始めとした各種イベントを開催するなど町民や観光客等の交流の場として利用されている。

しかし、平川及びその支流、用水路等の公共用水域では、各家庭からの生活雑排水による水質汚濁が進み、悪臭の発生や釣り人の減少が見られ、農業への影響も懸念されている。この汚水処理対策として、平成 4 年度から公共下水道事業に着手し、平成 11 年 4 月から一部供用開始となっている。下水道認可区域以外の区域は平成 12 年度より浄化槽事業（個人設置型）で進めてきたが、汚水処理人口普及率は平成 17 年度末で 42.4%とまだまだ低い。

そこで、汚水処理施設整備交付金を活用した公共下水道と新規の浄化槽（市町村設置型）を連携した汚水処理施設の整備を促進するとともに、河川等の清掃活動を今後も継続することにより、昔は数多く生息していたホタル・カジカ・雑魚等が戻ってくるような清流に復活させ、豊かな自然（みどり）と共生した快適な生活環境で暮らせる「彩りのまち」を目指す。また、大鰐温泉もやしの生産拡大・ブランド

化、りんごを資源とした農業体験事業、サマーフェスティバル・つつじまつり等イベントの開催、全国規模のスキー大会の誘致・スノーキッズフェスティバルの開催等これら事業を展開することにより、毎年減少傾向にある観光客の呼び戻しに努め、大鰐町の地域再生を目指すものである。

(目標1) 汚水処理施設の整備の促進(汚水処理人口普及率を42.4%から58.9%に向上)

(目標2) イベント等を含む観光客の増加(年間378,872人から400,000人に増加)

(目標3) 温泉もやし、通年もやしの増産(年間43.2トンから50トンに増産)

5. 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

本町では、汚水処理施設整備交付金を活用した汚水処理施設の整備を、公共下水道と浄化槽(市町村設置型、個人設置型)の2つの事業で町全域を対象に実施する。

公共下水道は、平成17年度末では事業認可区域194.7haのうち約68%の133haが整備済であったが、平成23年度末までの事業変更認可を受けて(平成20年7月認可済)市街地から順次整備しており、今後残った区域を継続し整備する。

浄化槽事業(市町村設置型)は、汚水処理施設整備計画の見直しにより、集落排水事業の計画区域を変更し、平成18年度から新規に整備を進める。対象区域の人口は町全体の約4割にあたる。

浄化槽事業(個人設置型)は、市町村設置型の各地区及び下水道認可区域を除く大鰐町全域を対象に整備を進める。

その他の事業として、温泉もやし栽培事業により「大鰐温泉もやし」の生産拡大とブランド化を図り、スキー場の活性化のための全国規模のスキー大会の誘致やスノーキッズフェスティバルの開催、サマーフェスティバル・つつじまつり等のイベントの開催、観光りんご園でのりんごのもぎ取り体験等を行なう。また、町内の河川等の清掃活動を継続する。

5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

汚水処理施設整備交付金を活用する事業

整備箇所等は、別添の整備箇所を示した図面による。

【事業主体】

- ・いずれも大鰐町

【施設の種類】

- ・公共下水道、浄化槽(市町村設置型、個人設置型)

【事業区域】

- ・ 公共下水道 大鰐処理区
- ・ 浄化槽（市町村設置型） 森山地区、三ツ目内地区、居土地区、高野新田地区
虹貝新田地区、早瀬野地区、島田地区、唐牛地区
駒木地区、長峰・苦木地区、大平地区
- ・ 浄化槽（個人設置型） 大鰐町全域（市町村設置型の各地区・下水道認可区域を除く）

【事業期間】

- ・ 公共下水道 平成18年度～平成22年度
- ・ 浄化槽（市町村設置型） 平成18年度～平成22年度
- ・ 浄化槽（個人設置型） 平成18年度～平成22年度

【整備費】

- ・ 公共下水道 事業費 720,000 千円（うち、交付金 360,000 千円）
単独事業費 308,000 千円
- ・ 浄化槽（市町村設置型） 事業費 264,960 千円（うち、交付金 88,320 千円）
単独事業費 24,000 千円
- ・ 浄化槽（個人設置型） 事業費 4,320 千円（うち、交付金 1,440 千円）

- 合 計 事業費 989,280 千円（うち、交付金 449,760 千円）
単独事業費 332,000 千円

【整備量】

- ・ 公共下水道 $\Phi 150\sim 200$ mm L=7,200m
- ・ 浄化槽 270 基
なお、各施設による新規の処理人口は下記のとおり。
- ・ 公共下水道 大鰐処理区で 780 人
- ・ 浄化槽（市町村設置型） 森山地区、三ツ目内地区、居土地区、高野新田地区
虹貝新田地区、早瀬野地区、島田地区、唐牛地区
駒木地区、長峰・苦木地区及び大平地区で 840 人
- ・ 浄化槽（個人設置型） 90 人

5-3 その他の事業

- ・ 温泉もやし栽培事業

温泉街の活性化のため伝統ある栽培技術を伝承し、温泉熱を利用した「大鰐温泉もやし」の生産拡大とブランド化を図る。

- ・ スキー大会誘致事業

数々の有名選手を輩出した大鰐温泉スキー場への誘客を図るべく、国体を始めとした全国規模のスキー大会の誘致やスノーキッズフェスティバル等のイベントを開催する。

- ・ 観光商業活性化事業

サマーフェスティバル（ねぷた祭り、灯籠流し、納涼フェアー他）、つつじまつり等の観光客を巻き込んだイベントを開催する。

- ・ 農業体験事業

観光りんご園で観光客にりんごのもぎ取り体験等をしてもらい、農家との交流を図る。

- ・ 河川清掃事業

町の関係機関、団体等の協力のもとに河川等の清掃活動を継続する。

6. 計画期間

平成18年度～平成22年度

7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、4に示す数値目標に照らし状況を調査、評価し、公表する。

8. 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

汚水処理施設整備計画については、最新のデータに基づいて計画を再検討したものであり、既存の「青森県汚水処理施設整備構想」（都道府県構想）に掲載された計画と異なる計画としたので、次回の都道府県構想の見直し時に反映することとした。